

商業施設・マンションの設備管理に活用『ボイラー故障予知』

■課題

設備の故障や不具合の発生を事前に察知し、先回りして計画的に対処できれば、突発的な停止や故障を回避することで想定外の対処費用が不要となる。また、設備の継続的な維持を図りたい。

■概要・期待効果

点検員による通常点検では発見できない設備の不調を、故障する前に早期発見することが可能です。

まだ使える設備を早めに交換する「予防保全」ではなく、不調を検知し、状況に応じて対応する「予兆保全」とすることで、設備維持費を圧縮します。

また、緊急対応を減らすことでコストを削減します。

